

音楽をより生々しく、部屋全体にサウンドステージを広げるための波動ツイーター

CLT-3FV *Final Version*

販売価格 138,000円(ペア・税込)

CLT-1から数えて3世代目のCLT-3には、DCT処理を施したパーツや高音質スピーカー端子などが装備され、シリーズで最高の音質に仕上がっています。お使いのスピーカーの上に設置し、並列に接続するだけで素晴らしい効果を発揮します。



波動ツイーターの原理

コンサート会場でシンフォニーを聴いているとき、小さなトライアングルが他の楽器の音に埋もれずハッキリ聞こえることを疑問に感じたことはありませんか？身近な例では「風鈴」や「虫の声」も同じですが、なぜ「小さな楽器（小さな体）から発生する音」が「大きな楽器の音」と対等に、あるいはそれらよりもハッキリと聞こえるのでしょうか？その秘密は、「音の立ち上がりの鋭さ＝空気の圧力の高さ」にあったのです。

スピーカーと異なり、楽器の発音体はほとんど例外なく表面が波打つように振動する「波動モーション」で運動しています。「剛性の高い発音体が高速で振動する」この「波動モーション」では、空気が強く圧縮され「鋭い音（アタック）」が生みだされます。しかし、現在主流の「オーディオ機器の高音発生装置＝ツイーター」のように剛性の低い薄い膜を「ピストンモーション」で往復運動させるだけでは「空気を十分に圧縮」できず、楽器と同じような「鋭い高音」が得られません。この「音の発生原理の違い」が楽器の生の音とスピーカーの音に違いをもたらし、スピーカーの音を弱々しく感じられる原因となっていたのです。

この欠点を補うため、CLTシリーズは楽器と同じ「圧力の高い音波」を作り出す装置として考案されました。CLTは従来の方式のスピーカーでは再現することが出来なかった「圧力の高い音波」を発生すると同時に、ツイーターとスピーカーの間の「重なる音域」を効果的にカットするように設計されています。CLTは、他のツイーターのように面倒なネットワークの調整や音量調整を一切必要としません。今お使いのスピーカーにCLTを並列接続するだけで、これまでのツイーターやスーパーツイーターでは決して再現出来なかった「生の楽器に近い自然な音」と「空気感溢れる音の広がり」が再現されるのです。

ボーカルの細やかさと艶めかしさ、楽器のアタックの鮮烈さを同時に改善できる補助ツイーターは、AIRBOWの波動ツイーターだけです。長年のライバルとされていた（CLTの方が音はずっと良いですが）村田製作所が発売する「セラミック・ツイーター」も生産販売を完了した今、「芯のある高音」を出せるツイーターはAIRBOW 波動ツイーターを除いてほかにはありません。

波動ツイーターの原理

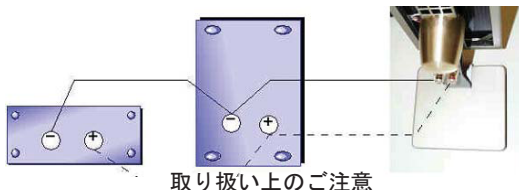
コCLT-3-FV (Final Version) の外観はCLT-3と同じですが、スピーカーターミナルを変更し、裸線・バナナプラグに加えに8mmのYラグ（スピードプラグ）がお使い頂けるようになりました。さらにファイナルモデルにふさわしい最高の音質を実現するためネットワーク回路を徹底的に見直し、CLT-3よりも効果が数割大きくなっています。音の繋がりもより自然にで、ツイーターの存在をほとんど感じさせません。

CLTシリーズの接続方法

このツイーターにはネットワークが組み込まれています。ご使用中のスピーカーの入力端子（アンプからのケーブルを接続する端子）より、接続ケーブル（付属していません。オーディオ用のスピーカーケーブルをお使いください）を伸ばして、CLT-3の入力端子と接続してください（電気的には並列接続になります）。

CLT-3FVの主な仕様

- 形式:NXT方式フラットパネルスピーカー
- 振動板:カーボン CLT3同一品
- インピーダンス:5Ω以上
- 再生周波数帯域:7KHz-50KHz以上
- 定格入力:3W(連続)
- CLT3の外形寸法
W16.0cm×H21.1cm×D18.5cm・重量:4kg



取り扱い上のご注意

波動ツイーターは、定格入力が3W（連続）と低くなっていますが、内蔵しているネットワークが効率的に不要な電力をカットするため、通常の使用で過大入力により壊れることはまずありません。

※CLTシリーズは、補助ツイーターとして設計されていますので、単体ツイーターとしての使用は出来ません。必ずスピーカーステムと組み合わせて、同時に使用してください。ツイーターを単独で使用した場合は過大入力による破損が起きやすくなり、その際の修理は保証対象外となります。